

【まとめ】

I. 施設について

1. 回答施設数は 58 施設と昨年と比較して約 32%減少した。今年度は、400 床以上の大規模の施設からの回答が多かった。(図 1)
2. 外来患者数の分布は昨年度と同様であり、ISO 取得についても変化が無かった。(図 2、4)
3. 病床区分は、例年と同様の結果となった。(図 3)

II. 臨床検査部門

1. 検査部門の設置は、ほぼ 100%の設置であった。(未設置は、2 施設)
2. 検査科の職員の構成は正職員が約 85%、嘱託職員が 15%、今後の再雇用制の動向によって変化すると考えられる。(図 5)
3. 年齢構成については、20 歳代 26%、次いで 30 歳代 24.4%、50 歳代 23.2%、40 歳代 19.6%、であった。
今後しばらく、20 歳代、30 歳代女性が中心になって検査室を運営することが推測される。(図 6)
4. 検査業務の実施状況は院内での実施数は例年大きな変化は無い。細菌検査及び病理検査についても外部委託検査にする施設が多い結果となった。(図 7)
5. 認定資格について
日臨技の認定資格取得は、全体的に無取得が多い結果となる中、「心電図」、「救急」については、比較的取得している結果となった。(図 8)
6. 検診・健診業務について
検診業務は、回答があった施設の 80%で実施されていた。(図 9)
7. チーム医療については、ICT、NST の参画が多く、これは加算も関係されると考えられる。糖尿病教室、クリニカルパスは参画、未参画はほぼ同数で褥瘡対策については未参加が多数を占めた。(図 10)

8. 日直業務については
二交代体制施設も含め 68%の施設で行われている結果となった。
また、呼出制の施設も 32%の施設で実施されていた。(図 11)
9. 採血業務の実施状況は外来採血を実施および一部実施している施設は 77%であった。
病棟採血に関しては、83%の施設で未実施であった。(図 12)
10. 採血管の採血する順番については、決めている施設が多い結果となった。(図 13)
11. 駆血帯は、多くの施設でゴム製のものを使用しているが、一部の施設ではディスクの駆血帯を使用されていた。(図 14)
12. 臨床検査技師の他部門への出向は病棟・外来ともに約 20%であるが、カテーテル室、MRI では出向していない施設が多い結果となった。(図 15)
13. 今後の人員計画は現状維持の施設が多く、少数ではあるが増員予定の施設もあった。(図 16)
14. 神奈川県臨床検査技師会への加入状況では、正職員のうち 77%が加入しているが、嘱託職員では 34%しか加入していなかった。(図 17)
今後、正職員の加入を勧めるとともに嘱託職員の加入を増加する方法も検討したい

Ⅲ. 外部精度管理

1. 91%の施設で、外部精度管理に参加し、内訳は日臨技、神奈川県への参加が多数を占めた。(図 18、19)

Ⅳ. 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会参加について

1. 60%~80%の参加施設が最も多く、20%未満の施設は 11.7%ある現状であった。
(図 20)
2. 検体採取未実施が多い施設の中、26% (15 施設) では実際に行っている結果となった。(図 21)

V. 安全管理対策について

安全対策の各種マニュアルについては、「安全管理」「院内感染」「災害対策」が 90%以上の施設で完備されており、また、「危機管理」については約 70%の施設で完備されていた。(図 22)

VI. 災害時の対応について

「徒歩出勤可能職員の把握」は 80%以上の施設で把握されており、「自家発電設備設置」に関しても 70%の施設で設置されているが、「検査機器用受水槽の設置」は 30%程度にとどまった。(図 23)

近年は大型台風などの災害による甚大な被害もあり、今後設備面でも充実してることが望まれる

毎年行っている実態調査にご協力ありがとうございます。今後も少しでも皆様のお役に立つようなアンケートにして参りたいと考えております。引き続きご協力お願い致します。